

令和元年度 第7回 東区自治協議会 会議概要

開催日時	令和元年10月31日(木) 午後2時から3時20分
会場	東区プラザ ホール
出席者	<p>【委員】</p> <p>國兼委員、作左部委員、関根委員、野村(修)委員、長谷川委員、吉田委員、佐藤(清)委員、近藤委員、菊谷委員、月岡委員、野村(綏)委員、安藤委員、白井(俊)委員、白井(雅)委員、太田委員、木村委員、後藤委員、佐藤(恵)委員、田中委員、貝津委員、大江委員、高橋委員、中川委員、山田委員、土田委員、雪井委員 計26名</p> <p>〔欠席：和田委員、川上委員、斎藤委員、眞柄委員〕</p> <p>【事務局】</p> <p>(東区)堀内区長、前田総務課長補佐、江戸地域課長、古寺区民生活課長、山田健康福祉課長、萩野保護課長、伊藤建設課長、鷲尾中地区公民館長、青木石山出張所長、井島東消防署長、辰口石山図書館長、高橋地域課長補佐、阿部教育支援センター所長、地域課職員</p>
1. 開会	<p>(区長)</p> <p>本日は大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。今月は台風19号の影響で、本市でも新潟シティマラソンをはじめ多くのイベントが中止となりました。本市では大きな被害はありませんでしたが、1対1の支援となるいわき市への対口支援として、10月16日から職員の派遣を行っており、11月以降も続く予定です。また、本市の自主避難所には最大で214名、東区では34名の避難がありました。</p> <p>昨年も、毎月のように地震、豪雨、台風と災害が続き、いつどこでどういう災害が起こるか分からないというお話をさせていただきました。各ご家庭にお配りしているハザードマップ等もご覧いただきながら、天気予報であらかじめ予測ができるような災害には、日頃から早めの対応が必要と思っております。皆様からも地域での声かけ等を、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、10月26日、27日には県立大学の連花祭への出展、27日には東区安全・安心ファミリーフェスタが、区役所の南口エントランスホールで開催され、大形産の馬鈴薯をPRしていただきました。土日にもかかわらず自治協議会の皆様には活動していただき大変ありがとうございました。東区安全・安心ファミリーフェスタでは、東警察署、東消防署、社会福祉協議会等の大変多くの関係者の皆様からご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。おかげさまで1,600人という大勢の方の来場があり、大いに盛り上がったと感じております。来月に入りますと、東区歴史浪漫まち歩きや、東区市民劇団による演劇が実施されます。こちらも多くの皆様からお越しいただき、東区の魅力を多くの皆様に発信できればと思っております。</p> <p>本日の自治協議会は、来年度の特色ある区づくり事業について各課長から説明させていただき、皆様からご意見をいただきたいと思っております。効果的な事業として、東区の活性化につなげられたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

2. 自治協議会関連事項	<p>それでは、令和元年度第7回東区自治協議会を開催いたします。</p> <p>(事務局)</p> <p>引き続き、議事に入ります前に事務局から報告と確認をさせていただきます。</p> <p>本日は、和田委員、川上委員、斎藤委員、眞柄委員から欠席のご連絡をいただいておりますが、出席者数が新潟市区自治協議会条例第9条第2項の規定に達しておりますので、本会議は成立しております。</p> <p>また、報道関係者から取材の申出があった場合は許可してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なしの声」)</p> <p>では、そのようにさせていただきます。</p> <p>ここで資料の確認をいたします。本日の資料は、次第、資料1-1から資料2-3となります。そのうち、本日お配りした資料は、次第、参考資料として「第14回新潟市議会議会報告会」となります。</p> <p>資料に不足がございましたらお知らせください。</p> <p>それでは、後藤会長より議事進行をお願いいたします。</p> <p>(後藤会長)</p> <p>2「自治協議会関連事項」(1)「各部会報告」です。市民協働部門の第1部会から報告をお願いします。</p>
(1) 各部会報告	<p>(長谷川委員)</p> <p>第7回の会議は、10月11日に開催しました。</p> <p>まず、令和2年度東区特色ある区づくり予算について、地域課、総務課より説明があり、その後、質疑応答等を行いました。主な意見は、資料に記載してあるとおりですが、2点だけお話いたします。</p> <p>1点目、じゅんさい池みらいプロジェクトについては、公園愛護の取組みとの関連性についての質問が出ました。回答は資料に記載のとおりです。また、要望として、じゅんさい池は新潟市としても重要なものなので、今後も継続してもらいたいという意見も出ました。</p> <p>また、避難所運営ワークショップについて、東区避難所運営体制連絡会との関連はどうなのかという意見が出ました。その回答は資料に記載のとおりです。</p> <p>次に、県立大学の連花祭への出展について、意見交換等を行いました。ハザードマップや新潟地震の写真の掲示、防災グッズの展示、そして新潟地震のニュース映像等を流すことにしました。来場された方にはアンケートも提出していただきました。</p> <p>次に、令和元年度区自治協議会提案事業「防災時の地域防災対応力向上事業」の内容、資料等について、次回の会議で検討することといたしました。次回の会議には中越防災安全推進機構の方にも来ていただく予定です。</p> <p>最後に、令和2年度自治協議会提案事業ですが、地域課題について意見交換の結果、事務局より提案のありました高齢者の防犯対策や安心安全について取り組むこととし、具体的な内容と事業概要は今後協議することとなりました。主な意見は、資料に記載の</p>

とおりです。防犯対策等はすでに地域やコミュニティ協議会等でも取り組んでいることが多く、このへんの兼ね合いをどうするか、どんなものを実施したらいいか、悩んでいるところです。まずは、警察や民生委員、コミュニティ協議会、老人クラブ等でどのような取組みを行っているか実態を把握し、それを踏まえ自治協議会としての活動を考えていったらいいのではないかという意見が出ました。

今回の会議は、11月8日（金）午前10時から開催します。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、何かご意見やご質問はございませんでしょうか。

第1部会では、昨年に引き続き、県立大学の連花祭で防災の展示を行いました。私も展示を覗かせていただきました。昨年は新潟市長選挙があったために展示は1日だけでしたが、今年は展示が2日間となり、展示をする部屋があまり人通りの多くない場所になりましたが、昨年より多くの方々にご覧いただけたようです。展示の内容も昨年より豊富になり、新潟地震を体験された関根委員の体験談も掲示されていました。新潟地震の映像の上映も、地震を体験された方が長く座ってご覧になっていました。

当番の委員や事務局が、来られた方にお声がけして、新潟地震のことや、小学校での防災教育のことを話されていました。また、避難場所を知らなかったという学生もいて、充実した展示であったと思います。

お子様連れの方も多く来られていたので、小さいお子様が喜ぶようなものを用意するのも良いと思いました。

それでは、次に福祉・教育・文化部門の第2部会から報告をお願いします。

（田中委員）

第7回の会議は10月10日に開催しました。

まず、令和2年度東区特色ある区づくり予算について、地域課、健康福祉課、建設課より説明があり、その後に質疑をさせていただきました。

次に、「東区めぐり子どもバスツアー記録集」の作成について、事務局より説明があり、内容やレイアウト、配布先等について意見交換を行いました。その意見を踏まえて修正を加え、11月の全体会議で報告をすることといたしました。

次に、令和元年度第2回教育ミーティングについて、事務局より説明があり、その後、テーマ等について決定いたしました。日時は、令和2年1月30日（木）午後2時から実施し、教育ミーティング終了後に自治協議会の全体会議の開催となります。テーマは、「保護者、地域、学校の連携のあり方～保護者の関わりをより深めた三者連携の仕組み～」で考えています。出席者は、第2部会全員に加え、11月の全体会議で第1部会、第3部会の皆様にも希望を取り、希望の方に参加していただきます。

最後に、令和2年度自治協議会提案事業について、第2部会として取り組んでいく区の地域課題、事業予算について再確認をしました。事業名や事業概要については、次回、検討することとなりました。東区への適応指導教室設置に関する協議の進捗状況や、設置のための方向性について、阿部教育支援センター所長より報告いただき、今後第2部会としても自治協議会提案事業の一環として関わっていくことで確認をいたしました。

次回の会議は、11月6日（水）午前10時から開催します。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、ご意見やご質問はございますでしょうか。

11月の全体会議で、東区めぐり子どもバスツアーの記録集をご報告いただくということですので、よろしくお願いいたします。

続きまして、産業・環境部門の第3部会から報告をお願いいたします。

（國兼委員）

第7回の会議は、10月11日に開催しました。

まず、令和2年度東区特色ある区づくり予算について、地域課、建設課、区民生活課より説明があり、その後に質疑をさせていただきました。

次に、令和元年度区自治協議会提案事業について、東区安全・安心ファミリーフェスタに東区産農産物の魅力を発信するため、我々も参加させていただきました。日曜日の朝から多くの方が来られて、賑いまして良かったと思います。試食にあたりましては、新潟市食生活改善推進委員の方々からケーキサシを作っていただきました。また、参加者の方々には、料理アイデアコンテストのレシピ集もお持ち帰りいただきました。馬鈴薯は2個ずつ入れて配布し、子どもたちと保護者との会話で、「お母さん今日はカレーライスを作って」等、喜ぶ声も聞こえて賑わった1日だったと思います。

また、レシピ集の料理を掲示し、食べたい料理にシールを貼っていただき、貼る場所がなくなるくらいまで人が来られていました。子どもたちも喜んでおり、お母さん方も馬鈴薯が東区の特産との認識を得られました。他には、ステージイベントでも「ぬたりん」がPRしておりました。

料理教室については、事業の目的を確認しながら実施内容を検討しました。詳細な内容については今回の意見を踏まえ、引き続き11月の部会で検討することとしました。開催時期は2月下旬から3月上旬、時期的に取り扱う農産物は、越後姫を中心に考えていきたいと思います。詳細は今後の検討となりますが、子どもが調理をして、保護者は講座を受講した後に調理の様子を見学するところまで内容を決めました。

次に、東区の公共交通の研究について、事務局より東区的生活交通改善プランの改定方針やスケジュールの説明があり、改定内容については11月の部会で確認することとしました。

最後に、令和2年度自治協議会提案事業について、第3部会として取り組んでいく区の地域課題及び事業予算について再確認し、その後に事業名及び事業概要を検討し、引き続き11月の部会で検討することといたしました。

次回の会議は11月7日（木）午前10時から開催します。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、ご意見やご質問はありますか。

第3部会では、10月27日の東区安全・安心ファミリーフェスタで、東区の農産物の魅力をPRするため、馬鈴薯を使った料理の試食を行ったということです。新潟市農

業協同組合に所属されており、東区の農産物についてお詳しい貝津委員、参加されて何か感想等ありますでしょうか。

(貝津委員)

プレゼントのおでんをもらった方がそのまま我々のブースに来られ、そこから先はステージの方へ行くという流れがあり、良い出展場所でした。そして、東区は馬鈴薯が特産ということ呼びかけ、アンケートに答えてくださった方にはプレゼントがありますとお願いしたところ、皆さん快くアンケートを受けてくださいました。試食も午前と午後の2回で約200人分を作っていたいただき大変好評でした。馬鈴薯を使ったケーキサレでしたが、ビールのおつまみに美味しいですと勧めたらお父さん方も関心を持ってくださいました。レシピ集の中でここにありますということでお知らせしたら、作ってみますと言ってきて、子どもも喜んでくれて大盛況でした。

越後姫を使った料理教室については来年になりますので、これから協議し、特産の越後姫を皆さんに周知してまいります。皆さんのご協力のもとに、部会として取り組んでいく予定です。

(後藤会長)

以前、私も同僚の中国人の先生と近所の居酒屋へ行き、じゃがバターを注文しました。近所のスーパーで売られているものだと思いますが、中国人の先生がこれは良い馬鈴薯だと話されていたので、やはりここら辺の馬鈴薯は良いものだと思います。

それでは、来月の部会では、令和2年度の自治協議会提案事業の事業名及び事業概要を決定していただき、この全体会議の場で報告をお願いしたいと思います。

3. 審議事項

次に、3「審議事項」(1) 令和2年度特色ある区づくり予算(区役所企画事業)です。前田総務課長補佐からの総括説明のあと、各課長から説明をお願いいたします。

(1) 令和2年度特色ある区づくり予算(区役所企画事業)について

(前田総務課長補佐)

本日は副区長の櫻井が所用のため欠席させていただいておりますので、代わって説明をさせていただきます。

令和2年度の特色ある区づくり事業の内、区役所企画事業の事務局案についてです。配付資料の資料2-1から2-3をご覧ください。これは、今月行われました各部会で説明した資料をまとめたものです。先程、各部会長からもご報告いただいたように、各部会で担当する分野の事業について説明し、概ねご了承いただいたものと認識しております。なお、部会で頂戴しました意見等については、今後、事業の詳細を組み立てる中や、事業を実施する際にできる限り反映させたいと考えております。

本日は時間も限られておりますので、資料2-3の令和元年度の事業評価については後ほど資料をご覧ください。資料2-1「令和2年度東区特色ある区づくり予算(区役所企画事業)自治協議会委員からのご提案」及び資料2-2「令和2年度東区特色ある区づくり予算(区役所企画事業)実施案」について担当課より改めてご説明いたします。

その後、委員の皆様が所属する部会に関わらず、どの事業に対してでも構いませんの

で、ご意見やご質問を頂戴し、特段問題がないようでしたら、事業案を承認いただけたいと存じます。

それでは、地域課から順にご説明をさせていただきます。

(江戸地域課長)

資料 2-1 をご覧ください。これは、自治協議会の委員からご提案があった内容について、区としての検討結果を載せています。

まず、長谷川委員からご提案がありました「じゅんさい池自然環境保全事業」についてです。これまで、過去 2 年間に亘り、自治協議会で取り組んできたじゅんさい池の保全に関する事業を区として取り組んではどうかという内容でした。右から 2 番目の区役所検討結果の欄をご覧ください。区として検討し、区づくり事業として新たに「じゅんさい池みらいプロジェクト」として取り組んでいきたいと考えています。委託業者の技術指導及び作業補助のもとで、民間や地元のコミュニティ協議会、自治会等との協働で、葦や園芸スイレンの刈り取り作業を実施するとともに、外来種のミシシippアカミミガメ等の除去を図ります。また、ご提案がありました小学校の環境学習については、従来より地元のコミュニティ協議会が実施しておりますので今まで通りといたします。また、建設課が定期的に市の衛生環境研究所で水質検査を実施していますので継続してまいります。また、自治協議会でも地元学の観点からフォーラムやシンポジウム等を実施していましたが、地域課が今後引き続き行っていきたいと考えています。じゅんさい池の環境保全や活用方法、地域との役割分担等まちづくりの観点から検討していきたいと考えています。なお、予算は区民生活課と地域課で所管しますが、建設課とも連携しながら進めていき、本庁の環境政策課からアドバイスをもらいながら取り組んでいきたいと考えております。

続きまして、「中学生とのふれあい体験事業」についてです。これについては、区民ふれあい祭での体験事業を寺山公園等で行っている事業に加える形で引き継いでどうかという趣旨です。前回お話をさせていただきましたが、区民ふれあい祭については、来年の東京オリンピックの関係でロシアの新体操チームが合宿に来ることで、例年行っている時期での実施ができないこととなります。今月、12 コミ協の会長で組織するコミ協連絡会議の中で協議し、来年度については区民ふれあい祭は休止することが正式に決まりました。また、再来年度以降については、寺山こい来いフェスタ等の状況を見ながら来年度協議することになりました。来年度のふれあい祭につきましてはお休みをするのですが、その中で行っている中学生とのふれあい体験事業や、公共的団体のブースについてはご提案のとおり、寺山こい来いフェスタ等の寺山公園やい〜てらすで行われるイベントの中で実施してきたいと考えたところです。具体的には、区づくり事業の「東区まんなか文化プロジェクト」が従来からありますので、この中に予算計上して実施してきたいと考えています。また、実施にあたっては、区民こいのぼりプロジェクト in 寺山公園の実行委員会と連携して取り組んでいきたいと考えております。既に、実行委員会からはご了解をいただいております。

続きまして、「“東区自慢” 工場夜景ツアー」についてです。

今年は 4 回行いましたが、非常に好評でしたので、実施の回数を増やし、毎月行った

らどうかといったご提案や、こういった工場夜景の観賞だけに留まるのではなくて、写真コンテストの入賞作品等を区の色々な場所に展示したらどうかというご提案がありました。区役所の検討結果をご覧ください。既存の見学先の他に、新規の工場見学が出来る場所や、体験活動が出来る場所を調べて追加することで、バスツアーを充実させていきたいと考えています。また、区外の方からも多く参加していただけるように周知と魅力の向上を図っていきます。12回の開催は難しいですが、4回から6回に開催回数を増やしていきたいと考えております。また、今年度募集している「産業・観光フォトコンテスト」の入賞作品を、区役所南口エントランスの他、区外でも展示していきます。なお、本日参考までにお配りしたのですが、10月10日に新潟日報社の夕刊「おとなプラス」で、企画事業を非常に良く載せていただきました。木戸地域コミュニティ協議会発祥の工場夜景ツアーですが、このように大きく取り上げられるまでに育っていったということで、今後も東区の魅力を大いに発信していきたいと考えております。

次に「商店街活性化事業」についてです。東区には10の商店街がある訳ですが、この活性化の方策を考えたらどうかということです。場合によっては歴史浪漫プロジェクト事業の中で行ったらどうかというご提案をいただきました。区役所検討結果の欄をご覧ください。ご提案を受け、歴史浪漫プロジェクトの中で商店街活性化に資する取り組みを商店街関係者等と協議し検討する予定としました。また、商店街の空き店舗の活用や賑わいの創出、既存店の魅力向上といった商店街の活性化を支援する市の補助制度について、引き続き周知を図ってきたいということで、これについても歴史浪漫プロジェクトの中で実施していきたいと考えております。内容については歴史浪漫プロジェクトの中の商店街関係の方、場合によってはオブザーバーの方も入れながら、民間からの柔軟な発想によるアイデアを求めたいと考えております。ご提案いただきました内容についての地域課関連については、以上となります。

引き続きまして、資料2-2をご覧ください。こちらは、前田総務課長補佐から説明があったとおり、特色ある区づくり予算をそれぞれ、新規、継続、終了に分けて並べたものです。

地域課所管分についてです。「じゅんさい池みらいプロジェクト」についてです。これは、予算は地域課と区民生活課が持っています。来年度については、じゅんさい池の魅力のPRや地域住民との協働による自然環境保全活動、具体的には葦刈り等を行います。今後の方向性の検討は、地元の方のご意見はもちろんですが、専門的な知見を持った方のヒアリングをする中で、自然環境を生かしつつまちづくりをするにはどうしたらいいかということ色々な分野から考えていきます。

続きまして、「東区まんなか文化プロジェクト」です。こちらは継続して行っているものです。冒頭の区長の挨拶にもありましたが、東区の市民劇団による演劇公演やコンサート、作品展示を通じて東区の真ん中にある区役所庁舎から文化を発信していくというものです。ここに追加しまして、ご提案がありました区内中学校文化部の活動発表や多世代交流の場の機会を提供していくものを新規で載せており、中学生とのふれあい体験事業として、事業を拡大いたします。

続きまして、「東区工場夜景バスツアー」です。こちらは継続して行っていますが、事業名が変わっています。これまでは、「東区の産業・観光にぎわいプロジェクト」でした

が、一番の売りである工場夜景バスツアーがイメージしにくいというご意見もあり、そのものズバリといった事業名に変更しました。内容的には先ほどお話したのですが、回数を増やしていきたいと思っております。予算額が令和元年 220 万円で、令和 2 年度が 150 万円と減っているのは、フォトコンテストを今年度実施していますが、来年度は実施しないためその分が減っています。回数が増えた分、工場夜景については若干上乘せされています。

続きまして、「東区歴史浪漫プロジェクト」です。こちらにつきましても、皆さんもよくご承知のものですが、凵足柵と牡丹山諏訪神社古墳の 2 つをキーワードにしながら区民や商店街等と協働しながら地域の誇りづくりと活性化に取り組むものです。こちらは普及啓発事業として、凵足柵や牡丹山諏訪神社古墳についての周知を引き続き行っていきます。凵足柵をボーリングで調査するといった探索調査事業も、引き続き行っていきます。関連活性化事業は、雪井委員からご提案がありました商店街の活性化について検討していきますが、毎年行っていましたスタンプラリーは、参加者には非常に好評なのですが、その反面参加していただいている店舗からのアンケートを見ますと、半分を切る満足度で、スタンプを集めるために単価の低い商品を購入するケースがある等の理由で満足度が低いこともあり、また、金額も非常に大きい事業であったことから、休止をしたいと考えております。その代わりに商店街の活性化ということで、雪井委員からご提案いただいたような、何か歴史をキーワードにしながら活性化できる方策を考えたいと思っております。

(古寺区民生活課長)

資料 2-2 をご覧ください。「美しい東区環境づくり」についてです。この事業は、まちの美化とともに、区民の皆様の環境保全意識の向上を図って、クリーン東区のイメージ定着につなげていくことを目的に実施しているものです。

事業内容につきましては記載のとおり、2 つの取組みがあります。1 つ目は区内一斉清掃（東区クリーン大作戦）です。8 月の最終日曜日を中心としてコミュニティ協議会単位で区民総出による一斉清掃に取り組んでいただいております、ここ数年は 6,000 人前後の皆様からご参加いただいております。2 つ目は、ボランティア清掃の支援ということで、こちらは自治・町内会をはじめ学校関係の P T A や育成協、あるいは民間事業所等様々な団体から海岸や公園等身近な地域の清掃活動に取り組んでいただいております。これまでも、その活動に対してごみ袋の配布やごみの回収を支援してきましたが、今回は新規、拡充としてオリジナルごみ袋の作成、配布や広報活動を強化していきたいと考えています。予算額では、60 万円の減額となっていますが、これは不法投棄防止看板の作成と環境ポスターコンクールの事業費の減額によるものです。不法投棄防止看板については、平成 26 年度から大型看板を設置してきましたが、一定の抑止効果が継続されていると考えられるため一旦休止するものです。また、通船川をテーマにした環境ポスターコンクールについては 3 年間取り組んできましたので、今回は事業を見直して、同じく東区の身近な水辺空間であるじゅんさい池にスポットをあてて、先ほど地域課長から説明のありました新規事業「じゅんさい池みらいプロジェクト」の中で地域住民との協働による自然環境保全活動の部分を区民生活課で担当することにするもので

す。今後も区民の皆さんとの協働により、まちの美化と自然環境保全の取組みを推進していきたいと考えています。

(伊藤建設課長)

資料 2-1 裏面をご覧ください。「基幹道路愛称・通称の普及」についてです。内容は、新規愛称の制定と、そのために行う基礎調査と検討、愛称表示板の制作、設置です。ご提案に対する区の検討結果ですが、本市ではいつでも道路の愛称をつけることは可能で、道路愛称選考委員会の組織及び運営に関する事項を定めた新潟市道路愛称選考委員会設置要綱が施行されております。東区でも、平成 23 年度に中央区馬越交差点から東区上木戸 4 丁目までの区間を笹木戸線と愛称をつけた経緯があります。このように、いつでも愛称をつけることは可能であり、区役所としては急いで新たに愛称をつけたい路線はないこと、また表示板の設置は新たな名称をつけたときが望ましいと考えることから、令和 2 年度の区役所企画事業としては行わなくてもいいのではないかと考えております。なお、道路の愛称は地域の皆様から具体的な路線について、愛称をつけたいとご要望をいただいた時に検討に入っていく方がよろしいのではないかと考えています。

続きまして、資料 2-2 をご覧ください。「区民こいのぼりプロジェクト in 寺山公園」についてです。今年度、こいのぼりの掲揚を通じ、寺山公園と子育て交流施設い〜てらすの知名度向上と、地域の連携の輪を広げることを目的に開催した「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」を令和 2 年度も継続して開催するものです。イベントの企画運営は、今年度に引き続いてコミュニティ協議会の皆さん、地元の関係団体、小中学校、保育園、企業等で構成する実行委員会に担っていただくことにしていますが、開催に必要な会場づくりと運営を行うものです。内容は、掲揚ポールの設置および安全対策、仮設駐車場の整備、案内看板の設置等です。予算案としては、こいのぼりは今年度十分過ぎる数を寄附していただきましたし、ポール等は今のところは使える状態にありますので、昨年度より 70 万円少ない 200 万円としています。今後は、東区の魅力を発信するイベントとして定着させて、ネーミングライツを見据えた事業展開とこいのぼりを通じた東区内の他の団体とも連携しながら進めたいと考えております。

(山田健康福祉課長)

資料 2-2 をご覧ください。健康福祉課は新規事業が 3 事業、継続事業が 1 事業、終了が 2 事業となっています。下から 2 つ目の「地域で取り組む健康長寿」というのは、新規の「東区歯っぴーすまいるプロジェクト」にリニューアルし、新規としております。1 番下の「東区子ども子育てサポート」は、「マタニティ期からつながるすくすく子育て応援事業」ということでリニューアルし、新規としております。

はじめに、「みんなで見守ろう認知症！おれんじネット」についてです。3 月 31 日現在、東区の高齢化率は 28.7%となっています。8 区中、低い方から 2 番目ですが、東区でも高齢化が進んでいます。そこで、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため認知症キャラバンメイトやサポーター等の活動を支援し、地域住民が認知症とその家族への理解を深め、認知症を地域で見守るネットワークづくりを推進したいと考えています。事業内容は、東区キャラバンメイト連絡会の組織化や、住民向けの講演会や

サポーターステップアップ講座の開催、そして認知症徘徊模擬訓練の実施等を計画しています。

続きまして、「東区歯っぴーすまいるプロジェクト」についてです。東区の歯科保健の健康課題として、平成 29 年度の中学 1 年生である 12 歳児の本市の 1 人当たり平均むし歯本数は平均 0.44 本ですが、東区は 0.76 本と市内でもワースト 1 となっています。こうした状況を改善したいと思い、子どものむし歯罹患状況の改善に向け、子ども食堂、保育園、幼稚園等の関係機関と連携した歯と食育の健康づくりを行いたいと考えています。そして、健康寿命の延伸に向け、コミュニティ協議会との協働による健康づくり、介護予防に取り組み、健康づくりリーダーを育成支援し、地域の主体的な健康づくりをサポートしていきたいと考えております。具体的な内容としては、貧困とむし歯の相関関係がかなり強いと言われているので、子ども食堂を会場に歯と食育の健康相談実施やむし歯予防キャンペーンを行いたいと思っております。そこから、3 年かけて東区内の 45 の保育園、こども園の全ての園を 3 年かけて回り、歯科衛生士によるむし歯の予防教室を行っていき、そして、歯と口の健康づくりの啓発を進めていきたいと考えているところです。今年は、山の下地区コミュニティ協議会と行わせていただいたのですが、今後もコミュニティ協議会との協働による健康づくり、介護予防講座を進めていきたいと思っております。そして、ウォーキング等の自主活動のグループのリーダー研修会も行っていきたいと予定しております。

続きまして、「マタニティ期からつながるすくすく子育て応援事業」についてです。子育て支援というのは生まれてからではなくて、赤ちゃんがお腹にいる時からの支援が大切ではないかと考えたところです。妊娠期から、子どもの世話を体験したり、助産師等から子育てに関する知識を得ることで、知らないことによる虐待リスクを減らすとともに妊娠期、出産、出産後の母親の子育ての不安感や孤立感を解消したいと考えております。また、子育ては母親だけではなく、父親も講座に参加することで、父親の子育て参加も促進していきたいと予定しております。さらに、子育て支援関係者の連携強化およびスキルアップを図ることも検討していきたいと思っております。特に、助産師会と連携し、働いている方も参加しやすいように土曜日、日曜日にマタニティセミナーを開催していきたいと考えているところです。

続きまして、「高齢者見守り訪問」についてです。高齢者の独居世帯や高齢者のみの世帯の内、介護認定を受けていない等で第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に見守り訪問を実施し、生活の様子を確認するとともに状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図りたいという事業です。これは、平成 28 年度から民生委員の協力を得ながら進めている事業ですが、民生委員による一次調査、そこで介護サービス等が必要だと思われる方への保健師、看護師等の専門職による二次訪問で現況を把握し、適切なサービスにつなげ高齢者の社会的孤立を防いでいきたいと考えているところです。

終了事業については先ほど説明させていただきましたが、「地域で取り組む健康長寿」、「東区子ども子育てサポート」はリニューアルということで、新規の講座にやり方を変えて結びつけているということです。

(前田総務課長補佐)

資料 2-2 をご覧ください。まず、「(仮称) 避難所運営ワークショップ」についてです。事業の説明をする前に、本市の避難所の概要について、簡単にご説明をさせていただきます。災害時に避難所を運営する組織として各避難所単位で避難所運営委員会というものがございます。こちらは、地域の方、施設の管理者、避難所の開設を担当する市職員で構成されております。本庁の危機管理防災局では、これまで年 1 回運営委員会のメンバーを対象に避難所運営体制連絡会を開催して、避難所の部屋割り等の基本的部分に関する学習会を実施することで、避難所運営の体制づくりを行ってきました。これは 8 区とも同様の内容で進めており、今後も数年間避難所運営の基本的内容を継続していく方針となっております。しかし、東区におきましては他の区と比べて避難所運営に対する取り組みが進んでいるところが多くあり、今後の研修についてはより実践的な内容を希望している地域もいくつかあります。そのようなニーズに応えるため、本庁が進めている事業とは別で新たに東区独自の事業としてこの事業を来年から実施する方向で考えております。避難所運営マニュアルの整備等取り組みが進んでいる避難所を対象に、ワークショップ形式で避難所形式で避難所運営のシミュレーションを行うことで、地域が考えている避難所運営のルールの有効性や不足する部分を認識してもらい、ルールの見直しや今後の訓練につなげていくものです。予算案として 130 万円を計上しております。これは防災の専門機関によるワークショップの開催経費でございまして、東区としては 10 か所程度の避難所組織での開催を予定しております。

続きまして、「わが家の防災力向上」についてです。区役所職員や専門機関が講師となり、コミュニティ協議会や自治会単位で組織しております自主防災会等への防災出前講座を行うものです。地域特性や防災に関する基礎知識、避難行動について理解を深めていただき、区民の防災意識向上を図るものであり、年々開催団体が増えている状況です。なお、予算額としては 50 万円減額の 250 万円を計上しておりますが、これは今年度この事業の中で実施しました親子向け防災イベントを来年度は実施しないことによるものです。このイベントは東区プラザの 1 室を会場にして親子で防災体験についてチャレンジする内容のイベントであり、広報にも力を入れておりますが、参加者が予定の半数程度であったり、また新規事業を開催するため来年度は実施しないものです。

続きまして、「東区安心安全な地域づくり」についてです。こちらは、地域団体と協働して行う交通安全や防犯等についての広報啓発であり、各運動月間に合わせ区役所で展示コーナーを設置するものです。併せて、小学校と地域の方が連携して行っている地域安全マップ作りに対する支援も引き続き行っていきます。

最後に、「東区安全安心ファミリーフェスタ」についてです。自治協議会の皆様からも東区の農産物の PR について、イベントにご出展いただきありがとうございました。このイベントは、幅広い世代の方から交通安全や防犯防災に関心を持っていただくために、東警察署等と共催で 10 月 27 日の日曜日に東区役所の南口エントランスホールで開催しました。交通安全の体験ブースや防災パネル展、パトカー等の車両展示や、ちびっここの制服試着コーナー等があり、ご家族連れの皆さんに楽しんでいただきながら交通安全や防犯等について考えていただく機会となったのではないかと感じております。なお、ファミリーフェスタは警察や地域団体、協賛企業等多くの皆様のご協力のもと開催しま

したが、関係機関との調整も多く、毎年の実施は難しい状況です。イベント来場者のアンケート結果等も踏まえて、今後の開催を検討していきたいと思っております。

(後藤会長)

ただ今、令和2年度特色ある区づくり予算(区役所企画事業)について説明がありました。何かご意見やご質問はございますでしょうか。

(野村 修一委員)

資料2-2、「東区歴史浪漫プロジェクト」の金額についてです。520万円が今年度の予算、来年度の予算案が200万円と、金額が半分以下になっております。細かい金額はよろしいのですが、どういう事柄をやめ、どう組み替える等の説明をもう少し詳しく説明をお願いいたします。

次に区役所企画事業の全体額です。一番下の網掛けの金額の欄ですけれども、2,600万円が来年度は2,650万円と50万円だけですが増えております。2,600万円は今年度の予算額、2,650万円は来年度の予算案であり、当然この金額で議会に予算案を提案するということではなく、まだ執行部での調整額かと思えます。新潟市は財政的に大変だということも報道で聞いております。細かい話ですが、財政当局からこういう種類の事業は前年度比95%で、こういう事業は100%以上でも要求できる等、あるのかも知れません。前年度よりも50万円増えていることについてのお考えなり見通しを、大局的な説明でいいのでお願いします。

(江戸地域課長)

まず、「東区歴史浪漫プロジェクト」の予算の減額についてです。スタンプラリーを今年度は実施し、来年度は休止すると申し上げましたが、その予算が約370万円となっており、来年は休止することから大幅な予算減額となったものです。

続きまして全体の額についてです。これについては、自治協議会提案事業の予算との合算額3,100万円が、自治協議会提案事業との入り繰りが可能となります。令和元年度は区役所企画事業が2,600万円、自治協議会提案事業が500万円、3,100万円の区づくり予算でした。来年度は、自治協議会提案事業につきまして、各部会150万円ずつの予算で、合計450万円となります。この自治協議会提案事業の50万円の減額分が、その分区役所企画事業にプラスされたため、令和2年度の予算額の合計が50万円上乗せされて2,650万円となったものです。シーリング等につきましては、区づくり事業については、今のところ特段指示はないように聞いています。

(後藤会長)

その他にいかがでしょうか。では、各部会からお一人ずつご意見をいただきたいと思っております。第1部会の野村綏毅知委員、何かございますでしょうか。

(野村 綏毅知委員)

資料1-1、「じゅんさい池自然環境保全事業」についてです。私は色々な会合に出席

をさせてもらっていますが、例えば関連のある公園愛護や新潟市住みよい郷土推進協議会等がある訳ですので、そういうものの合同の会合といいますか、会議を持ったほうがいいのではないかといつも思っていますので、お願いしたいと思います。

(江戸地域課長)

ご提案のとおりだと思います。公園といった面もあって色々な関係団体があります。そういった団体からも意見を聴いたり、関係者が一堂に会するような会議も場合によっては必要だと思いますので、検討してみたいと思います。

(後藤会長)

では、第2部会から太田委員何かございますでしょうか。

(太田委員)

予算については、私は専門ではないので詳しくありませんが、関わってこられている方たちが作られた予算案を私は適切だと思います。長く関わっていく中でまた色々なものが見えてくるのだと思いますが、これは素晴らしいと思います。

(後藤会長)

第3部会は、野村修一委員からお伺いしましたけれども、佐藤清委員からもお願いできますか。

(佐藤 清委員)

近年、災害や防災の関心が高まっているということで、防災力向上の面で、当たり前のように避難所に集まってくるということのほかにも、地域住民の方が自主的にもの考えて行動するという形が多く見られます。そのような状況の中で、もう規定されたことに関わらず、私たちの考えるところと地域住民の考えるところに差が出てきているような気がしています。考えられないような行動といいますか、そのようなことが地域住民に多く見られるようになってきていますので、いろいろな角度で、避難所の運営や時間帯、場所等も含めた防犯対策についての総点検や、きめ細かい配慮が必要ではないのでしょうか。

一つの例ですが、大形地区の場合は大形連絡所があり、昼間は市の職員の方がいますが、夕方から午後9時半頃まではまちづくりセンターで管理をしています。一般の方々にはやはり市役所なり区役所というようなイメージがある中で、もし災害があった場合、連絡所に自主的に避難してくるということが絶対ないとは言えないわけなので、そうなった場合、まちづくりセンターの運営そのものの問題もあります。また、公共施設の避難所の部分について細かい取り決め等も含めながら、災害に対する考え方を今までの枠からさらにもう一歩進める取組みが必要ではないでしょうか。

この度、自主避難という形が取られたということを考えますと、現実的に来なければいい、起こらなければいいということではなく、本当に起きた場合、1人でも多くの命を守り、怪我人を少なくするために、私たちもあらゆるところの対策をもっと進めなく

てはならないのではないだろうかと思います。非常に抽象的な言い方で申し訳ないのですが、そのようなことを近年感じるようになりました。

(前田総務課長補佐)

「わが家の防災力向上事業」については、区役所職員の出前ということで地域に向いて住民の方に避難所運営であったり、発災時の初期行動等そういった部分について話をしておりますが、近年災害が多発している中で、例えばこういった場合に避難所が空いているか、特に6月の山形沖地震の時は避難所の開設が遅れたということもありましたので、こういった場合に避難所が開設するか等、どこが開くのかというような情報も機会を捉えて発信していきたいと思います。また、区だよりやホームページ等の広報手段も有効に活用していきたいと思っております。また、地域の方を含めて、避難所の運営に携わっていただく方、市の職員も「(仮称)避難所運営ワークショップ」、新規事業の中でより実践的な運営ができるような形でこれから取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

(野村 綏毅知委員)

資料2-2、「美しい東区環境づくり」についてですが、その中に区内の一斉清掃、いわゆる東区クリーン作戦とボランティア清掃の支援がありますが、予算としても令和2年度は110万円ということになっています。私はいつも町内会を見回っていると、2回では少ないのではないかと思います。東区クリーン作戦も1回では少ないのではないかと、もう1回くらいやった方がよいのではないかと思います。それから、ボランティア清掃も大体1年に1回くらいで、私たちの自治会は1回ですが、1回ではやはり常に美化運動の美化にはなっていないような状況がありますので、お金は110万円の予算でいいかもしれませんが、区民生活課から2回ずつやってもらうような指導をしたらいいかなものかと思ひまして、ご意見をさせてもらいました。

(古寺区民生活課長)

各コミュニティ協議会に取りまとめをお願いして実施するものがクリーン大作戦、そして、各団体から自主的にやってもらうものがボランティア清掃です。各団体が何回取り組むかというところは、各実施主体にお任せしているところです。まちづくりビジョンにも掲げてあるように、クリーン東区を推進していくのだということで行政の支援も回数が多ければそれなりに予算措置もしながら支援していきたいと思ひますので、区民生活課の生活環境係と打ち合わせをする中で、各団体からは積極的な取組みをお願いしたいと考えております。

(後藤会長)

ありがとうございました。それでは、令和2年度特色ある区づくり予算(区役所企画事業)実施案について承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

それでは、実施案を承認いたします。

